



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年6月26日
文責 八木幸夫

6月26日 創立記念日

令和2年6月26日、私達の小国町立小国中学校は、74回目の創立記念日を迎えました。小国中学校は昭和22年に開校し、以来70年を超える歴史を刻んできました。その間、町内7つの中学校と統合し、その歴史も引き継ぎ、現在に至っています。(裏面参照) 卒業生は令和元年度までに10,489人を数え、政治、経済、芸能、スポーツなど様々な分野で活躍する同窓生を数多く輩出してきました。

しかし70年の本校の歴史は輝かしいものだけではありません。学校が荒れた時代もありました。しかし、どんな時も仲間を信じ、自分たちの力を信じ、よりよい学校を目指して懸命に努力した生徒達がありました。彼らの努力にささえられ、小国中学校は荒波を乗り越え確かな歩みを刻んできたのです。

本校の1年毎の歩みを記録するものとして学校文集「やまなみ」があります。生徒会の記録をたどると、自治活動の柱となる3つの考え方が継承されていることに気づきます。「あたり前のことをあたり前にやる。」「行事の成果を日常生活につなぐ。」「自ら考え行動する。」の3つです。そして、3つの考え方が、「あいさつ」、「合唱」、「ボランティア」の生徒会活動の3本柱の活動の中に、各専門委員会の活動に、学年の課題改善に自ら取り組む学年自治会の活動の中に生きています。

私は折に触れて、小国中生に「やらなければならないことは必ずやる。やるべきことをやり通す。やってはならないことは決してしない。」という強い意志を持つように話してきました。このことは小国中学校の長い歴史の中で大切にされてきたことです。

今年度は、生徒会スローガンに「自主・自律」～仲間とともに～を掲げ、生徒憲章のもと、落ち着いた中にも活気溢れる学校生活が送られています。これまで多くの先輩方が刻んできた歴史と、育ててきた伝統を継承、発展させる者として、生徒の皆さんには胸を張って欲しいと思います。そして「人間力を身につけ、小国を元気にする小国中生」を目指し、新たな小国中の歴史をしっかりと刻んで欲しいと思います。今の小国中学校には、今の小国中生にはそれが必ずできると信じています。

保護者の皆さん、地域の皆さんの力強いご支援を今後もよろしくお願いいたします。



【 小国中学校 校章(昭和22年制定)の由来 】

小国の「国」という字の国がまえの中に、小国の「小」という字を変形したものをあしらひ、真ん中の「中」は中学校を表しています。

校章が作られたのは昭和22年秋。デザインは当時の日本電興小国製造所(現在のクアーズテック)におつとめだった吉沢さんの力作です。

小国中学校の歩み

本校の創立は昭和22年に遡ります。当初は校舎がなく、小国小学校に間借りして授業が行われました。とはいえ、教室の数は小学生の分しかないわけですから、中学生は午後から登校し、小学生の帰った後の教室で授業を受けました。校舎はその2年後に現在地に完成し、昭和24年6月26日に竣工式が行われました。

現在の小国中学校は、この昭和22年創立の小国中学校の歴史だけを背負っているわけではありません。小国中学校72年間の歴史に加え、統合した玉川中学校、小玉川中学校、白沼中学校、北部中学校の4つの中学校の歴史をも背負っています。さらに加えれば、昭和46年に北部中学校に統合した五味沢中学校と今市にあった旧北部中学校や、昭和58年に南部中学校に統合した足中中学校を含みます

玉川中学校は、昭和22年に南小国村立南小国中学校として発足しました。その後、昭和29年の町村合併により小国町立南部中学校と改称し、平成元年の新校舎竣工に合わせて玉川中学校と再度改称しました。この頃、クロスカンリースキーが全盛期を迎え、平成元年から4年度までの地区スキー大会では女子リレーが3回、男子リレーが1回優勝を果たすなど、地区のクロスカンリースキーに玉川中ありと言われました。平成18年、59年間歴史を閉じ小国中に統合しました。

小玉川中学校は、南小国村立南小国中学校小玉川分校として設立され、その後、生徒数の増加に伴い、昭和39年小国町立小玉川中学校として開校しました。小玉川中もスキーが盛んで、昭和43年には、地区スキー大会男子総合優勝、平成7年には、男子アルペンで全国大会出場者を輩出しています。小玉川中も、平成18年4月の小国中に統合しました。分校時代からは59年間、独立校としては、45年間の歴史を有しています。

白沼中学校は昭和22年、津川村立白沼中学校として発足しました。女子剣道部が昭和52年から地区団体3連覇、昭和53年県大会女子団体優勝、昭和54年には柔道男子団体、剣道女子団体ともに地区優勝、さらに女子剣道は昭和53年から2年連続で東北大会3位と、まさに輝かしい歴史を刻んでいます。平成24年、65年の歴史に幕を閉じ、小国中に統合しました。

北部中学校は、昭和22年に、北小国村立北部中学校、その後創立した五味沢中学校が統合し、昭和47年、小国町立北部中学校が誕生しました。男子バレー部が平成22年度から地区大会3連覇、平成23年度は県大会で準優勝し東北大会出場という輝かしい歴史を刻んでいます。平成25年、旧北部中から66年間の歴史を残し、小国中に統合しました。

このように私たちの小国中学校は、それぞれに輝かしい歴史を刻んだ7つの中学校と統合し現在にいたっています。

現在、小国中学校は、平成26年に、地域と共に歩むコミュニティースクールの指定を受け、保小中高一貫教育の中核を担いつつ、学習に、部活動に、自治活動に一步一步新たな歴史を刻んでいます。「あいさつ」、「合唱」、「ボランティア」の3本柱は小国中の伝統として揺るぎなく、これらの活動を通して「人間力を身につけ 小国を元気にする小国中生」を実践しています。創立記念日にあたり、小国中の歴史を振り返り、新たな小国中の輝かしい歴史を刻むことを全校生で誓い合いたい。

